

地震
備えて安心 52
～南海地震などおちる
災害への備え～



↑避難場所にて安否確認を行う(万行地区)



↑AEDを使用した救命講習(鈴地区)



↑消火器での消火訓練(大和田地区)



↑災対本部で行われた災害図上訓練



↑消防団放水訓練後の閉会式典



いつか来るその時のために

— 黒潮町総合防災訓練を実施 —



9月5日、南海地震・津波を想定した黒潮町総合防災訓練が黒潮町内全域で一斉に行われ、65の自主防災組織などから約2300人が参加しました。

当日は、沿岸部は津波、山間部は土砂崩れなどを想定した避難訓練や安否確認の情報伝達訓練を行い、その後、各地域の自主防災組織などで地域で起こりうる災害を想定し、消防団員の指導のもと、初期消火訓練や炊き出し訓練のほか、ビデオ学習などを行い地域の防災力の向上を図りました。

また、役場では町長をはじめとする職員が黒潮町総合センターに参集し、大規模災害発生時の災害対策本

部の会議の必要性を確認するため、図上訓練形式による本部の運営訓練を行い、災害時に対応すべき職員の緊急活動や連携について確認・検証を行いました。

さらに、消防団においては各地域での活動の後、市街地で大規模火災が発生したという想定で、消防署と連携をして消火活動にあたる実践型の放水訓練を佐賀小学校付近にて行い、消火技術の向上に努めました。

突然起こる災害時には日ごろやっていないことではできないものです。そうした意味でも防災訓練は重要な意味があります。実際にやってみた訓練のよかった点、悪かった点を点検し、自分

たちの地域には災害時には何が起こりうるのか、どのような対応や事前の対策が必要なのかをみんなで考え、地域の実情にあった訓練を実践していくことが確実に備えにつながります。

南海地震は100年前後の周期で発生すると言われており、今後30年での発生確率が60%程度となっております。この南海地震に対し、私達は今何をしなければならぬか、この機会に自身、家族、地域のことを考え、これから先もみんなが訓練に参加し、訓練を見直し、より実効的な訓練を重ね「その時」に備えていきたいと思います。

●このページの記事に関するお問い合わせは、以下をお願いします。

【本庁】総務課 消防防災係 ☎43-2112(直通) 【佐賀支所】地域住民課 総合窓口第1係 ☎55-3113(直通)